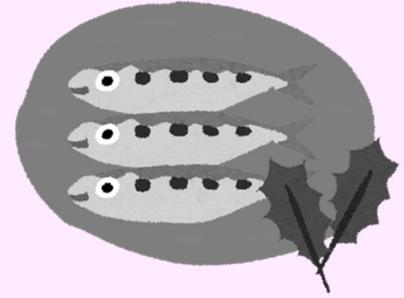


ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



ふる郷とふるさつを初茜

西原町 児玉 久美子

元朝や大樹もろとも透きとほる

仲町 玉野 研一

遙かなる記憶のなかの初詣

旭町 宝澤 房子

晴天や平成最後の松の内

南桜町 宮腰 幸子

年新たほろいとほれ落し記憶

緑町 池田 良子

添書のぬくもり伝ふ賀状かな

西岡町 渋谷 みさ子

一年の苦楽を記す初暦

西町 金澤 頼子

寒椿活けて友待つ外真白

元町 印牧 安子

寒の水喉元しかと老の貌

緑町 齋藤 嘉子

凍て道や踏み出す一歩に老の意気

仲町 坂部 和子

許さるる余生は知らず鬼やらい

元町 西崎 弘子

一村の厄みな空へごとと焼き

屯田町 古屋 克江

二年振ただお喋りの二が日

仲町 梅基 文子

被災地の飯の住まじや今年なる

旭町 大河 博子

初わらい大家族なる今が良い

西町 岸波 君江

初声は松の上より高々と

西町 杉浦 とし枝

初日記集う家族の名前から

藤本町 鈴木 ゆき子

年玉をあげる嬉しき曾孫かな

東町 高草木 喜代子

二が日過ぎて安堵や気のゆるむ

西岡町 高瀬 久美子

カーテンをすり抜けられぬ冬日向

東町 高橋 世津子

末吉の御神くしむすぶ雪の道

西町 文梨 清子

鍵束の鈴のしほれや掌てしほす

仲町 芳賀 星子